

1. 日時

平成 15 年 4 月 8 日（火） 15 : 00 ～ 17 : 30

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

鶴飼学科長，辻，杉山，若井，蔡，渡邊，曹，小葉竹，清水，青島，杉木

4. 欠席者（敬称略）

黒田，松本，片田

5. 記録

若井

6. 資料

資料 1 教育改善関連の討議資料

7. 議題

●協議事項

(1) 教室に掲示するパネル（案） <メールにて既に配布>（若井）

・学科の学習・教育目標とそれらに関連する授業科目群について，在学生に啓発するための教室内掲示パネル（イラスト）を新たに作成した．内容は了承された．

(2) 教員間連絡ネットワークの充実化 <メールにて既に配布>（若井）

・専門教育科目の非常勤講師については，年度毎の契約更新時に「学科の学習・教育目標」「シラバスの執筆見本」「関連情報 Web サイト」などを記した資料および学科パンフレットを配布し，学科の教育プログラムへの理解を深めて頂くようにした．

・学科の専任教官を除くその他の関連教官に対しても，大学の公式依頼文書やホームページなどを通じて学科の教育プログラムへの理解を深めて頂くことを確認した．

(3) 3 年次編入学生への対応 <資料 1>（若井）

・専門教育科目のうち 2 年次までに開講される必須科目群の到達度・単位認定については，編入学生個々の学習履歴を考慮した対応策を検討することになった．本件は教育システム検討委員会での継続審議項目となった．

(4) 教育改善組織リーダーの決定 <資料 1>（若井）

・教育システム検討委員会の委員長には小葉竹教授，教育点検成果評価委員会の委員長には辻教授が就任した．学務委員 2 名のうち鶴飼教授が今年度学科長のため交代となり，代わって今年度から向こう二年間担当の 1 名を選出することが決まった．また今年度一杯で若井も交代となるため，来年度から向こう二年間担当の 1 名も選出する必要があることが確認された．学務委員メンバーを確定後に，上記 2 つの委員会の委員を決定することになる．

(5) 研究室配属方法の改善 <資料 1>（若井）

・現行の研究室配属方法についての改善方針が策定された．留学生の配属人数に関する制限条項の撤廃，留年経験のある学生の配属人数の均等化作業は通常学生の配属人数の均等化とは独立して行うこと，大学院進学希望者や成績優秀者へ優先配属権を認めることが確認された．成績算定の都合上，配属決定は 3 月末ないし 4 月初頭となる．

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成 15 年 4 月 23 日（水） 12 : 00 ～ 13 : 30

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

鶴飼学科長，辻，杉山，若井，蔡，黒田，渡邊，小葉竹，清水，松本，青島，片田，杉木

4. 欠席者（敬称略）

曹

5. 記録

若井

6. 資料

資料 1 3 学科協議会の討議資料

資料 2 研究室配属の方法（案）

7. 議題

●協議事項

(1) 3 学科協議会への参画 <資料 1>（若井）

- ・ JABEE 基準に対応する教育プログラム維持のための対策の一環として，すでに JABEE 認定を取得した本学科，生物化学工学科（生産プロセス講座），今後受審予定の機械システム工学科の 3 学科により意見交換会を設立することが了承された。
- ・ 協議内容などは今後同協議会にて検討される。また同協議会での検討結果などはすべて学科会議での承認を必要とすることが確認された。

(2) 研究室配属の方法の改善（案） <資料 2>（若井）

- ・ 審議未了のまま持越しとなった。成績順位を優先した配属方法に関して若井が次回の会議で具体案を提示することが確認された。

(3) 学科内の教育改善組織（2 委員会）のメンバー構成（若井）

- ・ 学務委員は杉山助教授（新規）と若井（継続；来年 3 月まで），教育システム検討委員会委員長は小葉竹教授，教育成果点検評価委員会委員長は辻教授が就任することが再度確認された。
- ・ 他のメンバーについてはメール審議等で確定することになった。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成 15 年 5 月 13 日（水） 15 : 00 ~ 18 : 30

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

鶴飼学科, 杉山, 若井, 蔡, 渡邊, 曹, 小葉竹, 松本, 青島, 片田, 杉木

4. 欠席者（敬称略）

辻, 清水

5. 記録

杉山

6. 資料

資料 1 最終審査報告書のポイント

資料 2 研究室配属の方法（案）

7. 議題

●協議事項

(1) 委員会の新規構成が表のように決定したことが報告された。

学務委員：杉山・若井

委員会	委員長	委員	外部委員
教育システム検討委員会	小葉竹	渡邊・片田・松本・杉山	山口 順（桐生建設会会長） 高橋 慶子（女子交流会会長）
教育成果点検評価委員会	辻	青島・清水・蔡・曹	山口 順（桐生建設会会長）

(2) 第 1 回 3 学科 JABEE 連絡協議会（仮称）について、主として次のことについて報告がなされた。

名称を、「JABEE 協議会」とする。構成は、各学科 2～3 名の構成とする。

建設工学科より出された意見を参考に、協議会の目的を JABEE に関することに限定することになった。

必要に応じて学部長、教務委員会への提案も行う。議論の結果は学科会議で了承を得ること。

●協議事項

(1) 資料 1 に基づき、教育プログラムの改善に向けての取り組みについて協議した。

・全員の継続的な履修保証をするために、技術者原論（工学倫理）は、学科内の進級判定などに盛り込むことを検討する（学科内必修科目）

・その他の項目も含めて、改善に向けての取り組みを以下のような方針で具体化することが確認された。

① 基準 1～4 に関連した内容改善は、教育システム検討委員会が担当する。若井学務委員が調整役を行う。

② 基準 5, 6 に関連した内容改善は教育成果点検評価委員会が担当する。杉山学務委員が調整役を行う。

(2) 研究室配属の方法の改善

・審議未了のまま持越しとなった。成績順位を優先した配属方法に関して若井が次回の会議で再度具体案を提示することが確認された。

(3) 工学教育連合後援会参加（6 月 14 日）

・杉山学務委員が出席することになった。参加にあたり、必要に応じて学科より予算配分を行う。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成 15 年 7 月 23 日（水） 12 : 00 ～ 14 : 00

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

鶴飼学科長，杉山，若井，蔡，渡邊，曹，清水，松本，青島，杉木

4. 欠席者（敬称略）

辻，黒田，小葉竹，片田

5. 記録

若井

6. 資料

資料 1 建設工学科教育プログラムの具体的な改善案

資料 2 建設工学科ホームページの内容変更（案）

7. 議題

●報告事項

- (1) 学務委員会会議（7 月 11 日）にて“教育プログラムの具体的な改善案”（資料 1）を取りまとめた経緯について若井が報告した。
- (2) 先般開催された教育成果点検評価委員会での検討結果について，近日中に取りまとめる予定であるとの報告が清水同委員よりなされた。
- (3) 教養教育科目担当教官（ただしコアカリキュラム担当者のみ）に対して“期末試験答案の保管に関する依頼”の文書を送付した件に関して，杉山学務委員から報告があった。非常勤講師（専門教育科目）については，年度始めに同様の文書（学習・教育目標をはじめとする学科教育プログラムの趣旨説明を含む）を送付済みであることが学科長より報告された（確認）。学科内の専任教官に対しても，確認のため，同様の依頼文書を配布したとの報告があった。

●討議事項

- (1) 資料 1 に基づく今後の作業計画については，9 月 16 日（火）の教室会議において詳細に議論することとなった。
- (2) 学科のホームページの更新（案）について渡邊広報委員より提案があった。学科の学習・教育目標やアドミッションポリシーの明示はもとより，学生と教官とのコミュニケーションの場として充実化させる方針が了承された。ホームページの内容の更新（計画）については渡邊広報委員が，ファイル管理など実際の運用は松本助手が担当（近藤技官と協力）することとなった。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成 15 年 9 月 16 日（火） 15 : 00 ～ 17 : 00

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

鶴飼学科長，杉山，若井，蔡，黒田，渡邊，曹，小葉竹，清水，松本，杉木

4. 欠席者（敬称略）

辻，杉山，青島，片田

5. 記録

若井

6. 資料

資料 1 教育システム検討委員会 議事録

7. 議題

●報告事項

(1) 教育システム検討委員会の活動報告（小葉竹委員長）

- ・ 前回の教育システム検討委員会（8 月 29 日）における検討内容の報告があった。
- ・ この他，関連する各事項（来年度の学科コアカリキュラム関係者の意見交換会 [5 月実施予定] の計画概要，教育システム検討委員会 [および教育成果点検評価委員会の] 年間スケジュールの確認，教育技術向上検討会 [前期] の実施予定の案内，など）についてそれぞれ確認および意見交換がなされた。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成15年10月7日（火）16:00～18:30

2. 場所

7号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

鶴飼学科長，杉山，蔡，黒田，渡邊，曹，松本，片田，杉木

4. 欠席者（敬称略）

辻，若井，小葉竹，清水，青島

5. 記録

杉山

6. 資料

資料1 アドミッションポリシー案

（参考資料1 研究プロジェクト（建設工学科を中心とした）案）

7. 議題

●協議事項

- (1) 資料1に基づき，建設工学科アドミッションポリシー案について審議した．なお，本案は，予めメールにて審議していた事項である．記述内容を若干修正し，確認後最終決定する予定とした．
- (2) 建設工学科を中心とした研究プロジェクトの構想に関連して，今後に向けた本学科カリキュラムについて，少し視野を広げた議論を開始した．まずは，学科名称変更の是非を含めた学科の教育研究の方向性について自由な意見交換を行った．学科名称変更について，先ずアンケート調査することになった．

1. 日時

平成 15 年 11 月 28 日（金） 16 : 00 ～ 18 : 00

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 記録

若井

4. 資料

資料 1 学科名称の変更案について

5. 議題

●報告事項

- (1) 資料 1 に基づき、学科名称の変更案とこれに関連した教官全員のアンケート結果が鵜飼学科長より紹介された。名称として「社会環境工学科」と「地域デザイン工学科」という案、現状維持の案、が具体的に提示された。

●協議事項

- (2) 学科名称の変更に関する自由討論が行われた。学科名称とは学科の教育理念、教育目標などを反映した名称であるとともに、カリキュラムの実質的内容を反映したものでなくてはならないとの意見があった。ただし、時代とともに個別の名称から受ける一般の印象は変化するため、現行のカリキュラムを大幅に変えなくても、名称の変更がありうるなどの意見も出された。同時に、受験生に対しても分かりやすい名称が望ましいとの意見が出された。カリキュラムの将来構想と合わせた慎重な検討が必要となるため、継続審議となった。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成 15 年 12 月 10 日（水） 16 : 00 ～ 18 : 00

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 記録

若井

4. 資料

資料 1 教務委員会資料

5. 議題

●報告事項

- (1) 資料 1 に基づき、平成 17 年度以降の教養教育実施体制について、大学教育研究センターにおける審議経過に関する報告が、清水教務委員よりあった。
- (2) 資料 1 に基づき、教務部会において、工学部補習授業の入門科目化が了承されたとの報告が、清水教務委員よりあった。
- (3) 資料 1 に基づき、教務部会において、専門教育教官と教養教育教官との懇談会を設置することに関する検討がなされたとの報告が、清水教務委員よりあった。

●協議事項

- (4) 平成 16 年度の「技術者原論」「科学技術論」の実施方法に関して、シラバスに基づいた方法により、小葉竹教授（技術者原論）、樋口氏・山口氏（いずれも科学技術論）がそれぞれ講義担当することになった。
- (5) 教養教育科目である「情報処理入門」（建設工学科一年生）（荒牧，月 1-2 時限）について、来年度より清水助教授と若井の二名が講義担当することになった。専門教育プログラムの内容を踏まえた効果的な内容構成を計画することが確認された。



建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成16年1月7日（水）15:00～18:00

2. 場所

7号館 建設工学科会議室

3. 記録

若井

4. 資料

5. 議題

●報告事項

(1) ㈱ベネッセの方を招いて、現在の高等学校の学生の動向や、学科名称変更に関して外部の方から見た率直な印象を伺った。

●協議事項

(2) 学科名称の変更に関して、集中的な議論がなされた。その結果、名称変更については継続審議とするとともに、必要に応じてカリキュラムの改革と同時に推し進めていくことの重要性が確認された。学生の学習・教育効果を向上させるための施策として今後、総合的な検討を行うとともに、着実な教育改革を継続していくことが確認された。

1. 日 時

平成 16 年 1 月 13 日（火） 16 : 00 ～ 18 : 00

2. 場 所

7 号館 建設工学科会議室

3. 記 録

若井

4. 資 料

資料 1 教務委員会資料

資料 2 JABEE 協議会資料

5. 議 題

●報告事項

- (1) 資料 1 に基づき、平成 17 年度以降の教養教育実施体制について、大学教育研究センターにおける審議経過に関する報告が、清水教務委員よりあった。平成 17 年度開設までの具体的なスケジュールが示された。
- (2) 資料 2 に基づき、JABEE 協議会（平成 15 年 12 月 24 日実施）の報告がなされた。主な報告・審議事項は以下の通り。
  - ・機械システム工学科が今年度 JABEE 認定審査を受けたことが報告された。
  - ・来年度の学生配布冊子「学修案内」の中などに、JABEE に関する説明を大幅に増やすとともに、JABEE 認定を受けるために卒業要件以外に各学科で義務付けている（強く指導している）個々の履修上の約束事について、上記冊子に明記することが提案され、了承された。
  - ・教務委員会に対して、JABEE 対応に関する検討の場をより広く設けて戴けるように JABEE 協議会より文書依頼することが提案され、了承された。
  - ・大学教育研究センター教務部会に対して、JABEE 認定を踏まえた教養教育システムの改善や専門教育との連携に関する意見交換の場をより広く設けて戴けるように、以前、工学部長と学科長の連名で文書依頼されたが、これに関して教務部会の審議事項として上記が扱われることが了承されたとの報告があった。

●協議事項

- (3) 平成 16 年度の新入生ガイダンスに関する一般的な内容審議がなされた。例年通り学習・教育目標の周知徹底を図ることが確認された。
- (4) GPA 導入に伴い、成績評価に関する手順（履修届提出の徹底、再試験時の成績評価であっても成績に応じて C 以外の評価がなされること等）の再確認がなされた。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成16年1月30日（金）15:00～16:30

2. 場所

7号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

鵜飼学科長，杉山，若井，蔡，黒田，渡邊，曹，小葉竹，清水，松本，青島，片田

4. 欠席者（敬称略）

辻

5. 記録

若井

6. 資料

資料1 教務委員会資料

資料2 自己診断シートに関する資料

7. 議題

●報告事項

(1) ホームページに以前より掲載されている年間スケジュール表に基づき，学科内の各教育改善組織（教室会議，教育システム検討委員会，教育成果点検評価委員会）が計画的かつ確実に運営されるよう，若井および杉山学務委員より再度確認があった。

●協議事項

(2) 資料1に基づき，平成17年度以降の教養教育実施体制について，科目登録制度に基づく各教官の担当科目を検討した。

(3) 資料2に基づき，自己点検シートの記入試行結果を踏まえた書式の最終調整と，各学生への配布・記入手順に関して協議を行った。現4年生については，各研究室で記入結果を回収し，現1～3年生および新1年生については，4月に実施される各学年ガイダンスの際にシート記入について指導を行うこととした。回収資料に基づき，教育成果点検評価委員会にて点検を実施することが確認された。

(4) 非常勤講師に対する予算削減の動向を踏まえて，非常勤講師担当科目の今後の在り方について早急に検討を始めるべきとの提案が，鵜飼学科長よりなされ，今後継続審議することになった。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日 時

平成 16 年 2 月 10 日（火） 16 : 00 ～ 17 : 30

2. 場 所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

4. 欠席者（敬称略）

5. 記 録

若井

6. 資 料

資料 1 卒業研究発表会の日程に関する資料

資料 2 ホームページ管理組織の設置に関する提案資料

7. 議 題

●報告事項

- (1) 卒業研究発表会の実施方法について，資料 1 をもとに清水教務委員より確認があった。
- (2) 卒業予定者の“自己点検シート”の記入について，教育成果点検評価委員会での議論を受けて，その方法と期限などの確認が杉山学務委員よりあった。
- (3) 卒業研究発表会後に行われる「卒業研究」の個人成績判定の際，学習・教育目標の達成度に基づく本学科教育プログラムの修了認定についても，同時に行うことが確認された。

●協議事項

- (4) 資料 2 に基づき，鵜飼学科長より，平成 16 年度から教職員と学生とが一体となって運営する学科ホームページ管理組織を立ち上げる旨の提案があり，了承された。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成16年2月19日（木）16:30～17:30

2. 場所

7号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

4. 欠席者（敬称略）

5. 記録

若井

6. 資料

資料1 卒業研究発表会の成績判定に関する補足資料

7. 議題

●報告事項

(1) すべての卒業予定者の“自己点検シート”が教育成果点検評価委員会に提出された旨の報告が、杉山学務委員よりあった。

●協議事項

(2) 資料1に基づき、「卒業研究」の成績にA以外の判定を付けることが妥当と提案された学生について、指導教官からの説明を踏まえ、最終的な判定がなされた。

(3) 学習・教育目標の達成度に基づく本学科教育プログラムの修了認定についても、教育成果点検評価委員会での予備確認の結果を踏まえ、すべての学生に対して行われた。その結果、すべての卒業予定者がすべての学習・教育目標を達成する見込みであることが確認された。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成 16 年 3 月 12 日（金） 16 : 00 ～ 17 : 30

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

4. 欠席者（敬称略）

5. 記録

若井

6. 資料

資料 1 研究室の希望配属先に関する資料

7. 議題

●報告事項

- (1) 資料 1 に基づき、平成 16 年度の卒業研究の研究室配属の確定作業に際して、以前に申し合わせたように、3 年次までの学業成績を一部加味して優先配属者を決定する旨の報告が、3 年生担任の若井よりなされた。

建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

1. 日時

平成 16 年 3 月 23 日（火） 10 : 00 ～ 11 : 00

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者（敬称略）

4. 欠席者（敬称略）

5. 記録

若井

6. 資料

資料 1 JABEE 中間審査に関する資料

資料 2 進級判定に関する資料

7. 議題

●報告事項

(1) 資料 1 に基づき、JABEE 中間審査の実施方法について学科長より説明があった。

●協議事項

(2) 資料 2 に基づき、3 年生および 2 年生の全学生に関する単位取得状況を確認し、進級の可否について個別に判定がなされた。

(3) 3 月末で任期の切れる若井学務委員の後任に、平成 16 年度からの向こう二年間、清水助教授が学務委員を務めることとなった。もう一人の杉山助教授は平成 17 年 3 月まで引き続き学務委員を担当することが確認された。機械システム工学科および生物化学工学科と協力して運営している JABEE 協議会への参加メンバーについても、上記に従って、建設からは清水・杉山の 2 名に交代することとなった。

(4) 学科内の 2 つの教育改善小委員会（教育システム委員会、教育成果点検評価委員会）の各構成メンバーの任期は平成 17 年 3 月までであることが確認された。